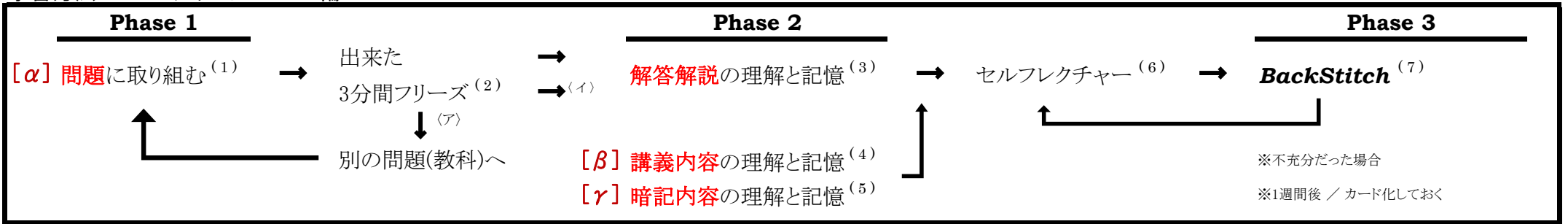


学習方法 フローチャート Phase編



※ [α] ⇒ 問題演習スタート地点 / [β] ⇒ 授業参加スタート地点 / [γ] ⇒ 暗記学習スタート地点

(1) 何も見なくても良いし、解答以外なら何を見ても良い。(ア)から戻って来てやり直す場合、少なくとも24時間以上の間をあけること。

(2) 手が止まって3分経過することを意味する。決して3分以内に解く、という意味ではない。少し余裕がある場合 or 模範解答がない場合は(ア)へ。先に進みたい場合は(イ)へ。

(3) 模擬試験／問題集／参考書 etc の詳しい解答を読む。単に読むだけではなく、ポイントをカード化する。(「テキスト4分割^{*}」のA)

1行ずつ理解することが前提だが、理解できなかった場合、ここでも「3分間フリーズ・ルール」を適用。付箋を貼って、次に進む。付箋の箇所は、後から、先生 or 友人に質問して解決させる。

(4) 学校 or 塾 or 動画講義 の授業ノートおよびテキスト or 参考書・資料集 etc を音読(ブラインド・ヴォイス)。単に読むだけではなく、ポイントをカード化する。(「テキスト4分割^{*}」のA)

(5) 暗記中心テキストを音読(ブラインド・ヴォイス)。単に読むだけではなく、ポイントをカード化する。(「テキスト4分割^{*}」のB)

(6) 1～3行毎に理解して憶え、「素の問題文」以外のいっさい(テキストやノート)を見ずに、第三者に説明できるようにする。英語長文・古文・漢文は、本文を「憶えた瞬間」を重ねる(約3行単位)。

(7) 3日～1週間後に、セルフレクチャーの内容 etc のポイント等を、いっさい何も見ずにレポート用紙に書く。あくまでも自分の脳だけを頼りにレポートする。従って、量は少なめが良いだろう。

英語長文・古文・漢文の本文をただ書き出すだけのBackStitchは必要ない。これらは(6)で充分。ただ、気になる場合は、その部分だけの数行程度のBackStitchは効果的だ。

重要な部分は100%完璧であることだ。特に[γ]内容の100%BackStitchにはこだわる。100%でない場合、容赦なく繰り返す。ただし、1日3回等、回数を決めておく。

1週間後のBackStitchのためにも、以下の2つを実行する。①日々の学習の日付等は必ず記録しておく。②1週間かけてポイントをカード化する。

★ 英語の注意点

英語の構造は「5文型」と「修飾関係」だから、その2点を見抜くことに注力する。／長文をまるごと憶えてしまうつもりで徹底的に音読(ブラインド・ヴォイス)する。「憶えた」瞬間を重ねることが重要だ。

英単語・熟語・構文・語法 は、カードで憶えてしまう。これも徹底的な音読(ブラインド・ヴォイス)を繰り返すのだ。また、長文における語彙チェックと設問毎のリーズニングは欠かせない。

★ 数学・理科の注意点

解法を理解して記憶することが数学・理科の学習で最重要なのだ。決して問題を解くこと自体は重要ではないので勘違いしてはならない。どんどんカード化して徹底的に音読(ブラインド・ヴォイス)しよう。

特に理系の人は、必要以上に「数学が出来ないとダメだ」と思い込む人が多いが、実は理科での得点の方が重要だ。数学にのめり込まないように！

★ 古文・漢文の注意点

最も音読効果が高い。しっかりと音読して、本文をまるごと憶えるつもりで徹底的に音読(ブラインド・ヴォイス)しよう。そして、①本文中のことばの語彙チェック、②設問毎にリーズニングを実行する。

★ 現代文の注意点

音読効果はかなり高い。まずはしっかりと音読する。次に、①本文中のことばの語彙チェック、②設問毎にリーズニング、③本文200字要約を実行する。

★ 地歴・公民の注意点

音読効果はかなり高い。まずはしっかりと音読(ブラインド・ヴォイス)する。この教科は特に、年表・地図帳・資料集へのフィードバックが重要である。

★ 小論文の注意点

「。」を打つたびに音読して確認する、という行為を怠らない。その他、守るべきルールを必ず守る。この教科は特に、検索による情報収集とその記載が極めて重要となる。

学習方法フローチャート 補助説明編

- ※ カードについて・・・B7判の厚紙を使う。市販の英単語カードは小さすぎる。／ 3大メリット ⇒ ①サマリー効果 ②モバイル効果 ③シャッフル効果
- ① ⇒ 学んだことをQ&A形式にすることで、ポイントがまとめられる。
- ② ⇒ その名の通り、持ち運びができる。つまり、トイレや風呂、電車を待つ時間や休み時間に、簡単に確認できる。
- ③ ⇒ 学んだ順に理解して憶えようとするのが人間なので、その順番で出題されれば容易に解答できる。しかし入試では「学んだ順」などお構いなしだ。たとえ理解した順序が変わっても微動だにしない理解と記憶が必要になる。カードで、そうした「順序」をシャッフルすることができる。
- ※ 時間活用法。① *Break Study* ② *Bath Study* ③ 30分集中法 ④ 24時間切断法 ⑤ 1週間活用法 ⑥ 睡魔撃退法
- ① ⇒ 学校の休憩時間、電車の待ち時間 *etc* スキマ時間に、カードを使って勉強する。
- ② ⇒ 風呂の時間に、カード *etc* を使って勉強する。これが意外と非常に効果的。(私も入浴中に新しいアイディアが出たものである)
- ③ ⇒ 30分単位で勉強を区切り、30分経ったら別のことをするのだ。
実は、勉強とは「1日で何を何個やったか？」ではなく、「1日何時間やったか？」で測るべきなのだ。
よく「キリの良いところまで勉強する」と言われるが、実は好ましくない。中途半端な方が、次回につながるのだ。
これを「ツァイガルニク効果」と言って、きちんと科学的に証明されている。従って、30分単位で切ることを強くオススメする。
- ④ ⇒ 1日の勉強をどうするか、それは平日と休日とで変わる。
平日なら授業に集中し、休み時間 (*Break*) に、授業内容を簡単に (5分で) セルフレクチャーしておく。
休日であれば1日を3時間毎に区切り、その都度、簡単に学習記録をつけて、次の3時間でやることを書き出す。
- ⑤ ⇒ 中長期の勉強計画など、何の意味もない。実際にその計画通りに勉強して合格する生徒は、ほとんどいない。
従って、1週間を1サイクルとし、それ以降の計画は頭の中だけにしておく。日曜日に、その週でやるべきことを大まかに決めておく。
- ⑥ ⇒ 歯磨きしてから勉強する／貧乏揺すりしながら勉強する／立って勉強する／歩いて勉強する／走って勉強する。
- ※ テキスト4分割・・・テキストは以下のように分割して、合理的に扱う。特に「捨てる勇気」を持つことが重要だ。
- A = 理解重視のメインテキスト
B = 暗記重視のメインテキスト
C = 単なる練習問題 (捨てるテキスト)
D = かつてのA,B教材で、今は調べるだけのテキスト